

# No. 1402

## みんなの力で

— 消防科学20周年 —

東京消防庁の消防科学研究所が昭和36年開設されてから今年でちょうど20年、これを記念する式典が科学技術週間中の4月16日行われました、この日研究所では現在行われている消防機器の研究、実験の様子が一般に公開されました。これはビル火災の実験。模型のビルを使って煙の流れを調べるもの、煙の動きがよくわかります。なべの油に火がついてもあわてることはありません。湿った布一枚でこのとおり。これは初期消火実験。このたび開発された高層ビル用の救助器機レスキュークライマー。はしご車が届かないビルでの火災の時、ロープやなわばしごをはこび避難誘導に利用されます。これは窓のないビル火災の時、カベに穴をあけて消火活動するボーリング放水車。尊い生命や財産を守るため消防の技術、開発の果すべき役割はますます重要なものになっています。

## 銀盤の祭典

— '81 東京エキシビション —

フィギュアスケートのシーズン最後を飾る「'81 東京エキシビション」が4月19日、東京品川のスケートセンターで華やかに開かれました。参加選手はいづれも今季国内、国際大会で活躍した選手で試合とはひと味違った得意のパートを演技していました。特に最年少で参加した伊藤みどり（中日ク）三回転を織り込んだかれんな演技は将来性を高く評価されています。世界選手権4位の五十嵐文男はビートのきいたリズムで動きの激しいステップをこなしファンを魅了、今後の活躍が期待されます

## 小さな町の大きな選挙

大平洋を臨む高知県・高岡郡窪川町。ささやかな農林漁業にすぎる小さな過疎の町である。昨年10月、藤戸進町長は四国電力に原子力発電所（原発）の事前調査を要請した。これに対し、原発反対派は町長リコールを叫び、今年3月藤戸町長のリコールが成立した。これを受けて行われた町長選挙、反対派からは「郷土をよくする会」の会長、野坂静雄氏（72）が立ち、推進派からはリコールで解職された藤戸進氏（52）が再び立候補、原発をめぐる、町は真っ二つに割れた。選挙戦も頂点を迎えた4月18日、我が国のモデルケースともいえる日本原子力発電会社の敦賀原発から放射能が漏れ、付近一帯が汚染されていることが判明、原発に対する不安は一挙に高まった。この事故は原発反対を唱える野坂陣営に有利とみられた。投票率は激戦を物語り、同町はじまって以来最高の93.3%に達した。町民が下した審判、それは一ヶ月前とは逆になった。しかし、原発反対派は半数近くもあり、全国に注目された小さな町の大きな選挙の結果は、まだまだ尾を引きそうだ。